

2022年8月31日

各位

株式会社三井住友銀行

トレックス・セミコンダクター株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、トレックス・セミコンダクター株式会社（代表取締役社長：芝宮 孝司）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

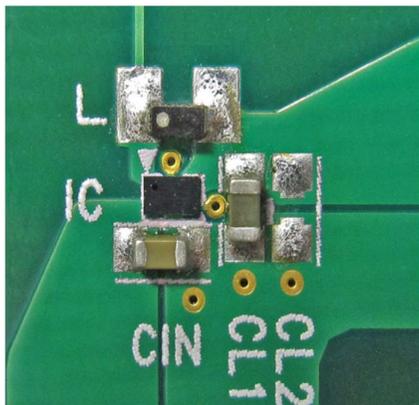
今回のトレックス・セミコンダクター株式会社に対する評価結果は、「環境配慮型製品・サービス」「従業員への配慮」「サステナビリティ・マネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

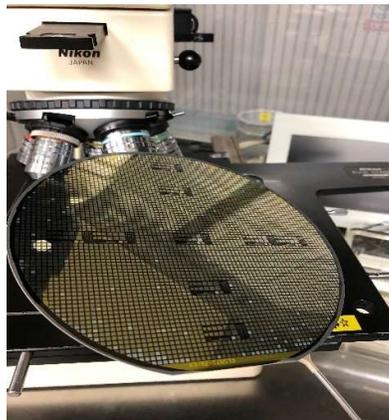
- ① 低消費電流の電源 IC や DC/DC コンバータ等の開発を進めることで、電子機器の省エネルギー・高効率化に貢献し、製品使用時の CO2 排出削減により脱炭素化への一翼を担っている。
- ② 従業員のワークライフバランスを重視し、有給休暇取得率や育児休業制度利用者数等をグループ全体で把握。女性や障がい者など多様な人材の活躍推進や、従業員の健康促進に向けた取り組みを進めている。
- ③ 省エネルギー製品の開発を通じて、脱炭素社会の実現に貢献する方針を中期経営計画で開示。社長を委員長とする「CSR 活動推進委員会」を設置し、各部門にも「CSR 担当者」を設けるなど、サステナビリティ全般の取り組みを推進する体制を整備している。

加えて、事業を通じて、SDGs が示す「目標 7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「目標 13：気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs 評価融資」により、お客さまの ESG/SDGs への取組を、金融を通じて支援してまいります。



電子回路の省電力化と実装基板の縮小化



発熱を抑える低損失パワーデバイスの開発

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以 上